

滋賀医科大学生協 リ・リパック回収と10円寄付



[環境]

取り組み概要

日時：2/19～
場所：滋賀医科大学
参加者数や組合員の反応：5月末の時点で、合計2,594個のリ・リパックが回収された。

背景や概要：食堂の改修工事に合わせて、リ・リパックの弁当販売と回収を始めた。また、回収されたり・リパック1個につき10円を能登半島地震の寄付金にあてる取り組みも実施した。

リ・リパックの回収と能登半島震災の支援

POINT.1 リ・リパックの弁当の販売開始



滋賀医科大学は今年で50周年を迎え、それに合わせて、食堂の改修工事が始まりました。食堂が使用できないため、改修工事期間に初めてリ・リパックを使用した弁当の販売を始めました。

SNSでリ・リパック弁当の魅力を発信し、組合員の購買意欲を高めたり、何度も同じ種類の弁当を食べて飽きることがないように、メニューを増やしたり、フェアをしたりするなど、組合員が飽きずに食事を楽しめるような工夫がされていました。

POINT.2 リ・リパックの回収促進

リ・リパックを使用した弁当の販売を始めるとともに、リ・リパックの回収も始めました。販売の際に組合員に直接回収の呼びかけを行ったり、SNSで回収促進に関する発信を行ったりしていました。

回収個所は大学内に多くあるわけではありませんが、回収ボックスを多くの組合員が昼食をとるラウンジに設置することや、実際に回収されたり・リパックを見える化することにより、初週の回収率は50%程度で、多くの組合員によって回収されています。



POINT.3 回収されたり・リパック1個につき10円の寄付

滋賀医科大学生協では、1月に発生した能登半島地震に対して、災害支援金募金に取り組んでいます。生協店舗に募金箱を設置するだけでなく、リ・リパックの回収を始めるとともに、回収されたり・リパック1個につき10円を災害支援金にあてる取り組みも実施しました。この取り組みを組合員全員にメールで情報発信を行ったことで、多くの組合員が知るきっかけとなり、たくさんの協力がありました。

リ・リパックの回収を始めてから5月末までで、合計2,594個を回収し、店頭での募金も含めると34,390円を寄付しました。多くの組合員によって回収と募金がされています。